政策番号 18 政策分野	学校教育
--------------	------

基本方針

いかなる社会情勢にあっても、「ひとりひとりの子どもを徹底的に大切にする」という京都市教育の理念の下、京都で学んだ子どもたちがいのちを大切にし、夢と希望をもって未来を切り拓いていけるよう、家庭・地域・大学・産業界・NPOなどの積極的な参画を得て、市民ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育む学校教育を推進する。

担当局	教育委員会	共管局	

政策に関係する主な分野別計画等

政策の評価

1 客観指標評価

	政策の客観指標評価	平成23	令和2	平成	平成		令和:	元年度評	価	
	以京の各就相保計画	評価値	目標値	29	30	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	学校教育に参画するボランティア数(人)	24,699	29,000	b	b	24,889	25,064	28,500	87.9%	b
2	小中合同の学校運営協議会を設置する中学校ブロックの割合(%)	16	50	а	а	39	49	37	132.4%	а
3	総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数(人)	45	600	а	а	501	578	480	120.4%	а
		а	а	_				а		

	施策の客観指標評価	評価			
施策番号	施策名	平成29		令和元	
1801	市民ぐるみの教育の推進(2指標)	а	а	а	
1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進(4指標)	а	а	а	
1803	教職員の資質・指導力の向上(2指標)	b	а	а	
1804	新しい学習環境づくり(1指標)	а	а	а	
	(4施策平均)	а	а	а	

政策の客観指標総合評価	平成29	平成30	令和元
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	а	а	а

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価			
街写	双 问	平成29	平成30	令和元	
1	保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど, 地域ぐるみの教育が進んでいる。	b	b	b	
2	安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	b	b	b	
3	学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。	b	b	b	
4	子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	b	b	b	
5	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	b	b	b	
	政策の市民生活実感調査総合評価	b	b	b	

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成	29年度	平成3	0年度	令和元年度				
順位	%	順位	%	順位	%			
6	87.8%	7	88.9%	4	88.5%			

3 総合評価

Α	政策の目的が十分に達成されている	_	
	評価】 ごあり,施策の効果が客観指標に表れている。 ごあり,次の原因が考えられる。	平 成 30 年	А
☑ b評価以上で	終調査総合評価】 であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 であり、次の原因が考えられる。	度 ——— 平	
	では,概ね目標を達成し,高い評価を得ている。また,市民生活実感調査におい的な評価を得ている。総合的に勘案し,この政策の目標は十分に達成されてい	成 29 年 度	А

今後の方向性の検討

くこの政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総	価	
心水田勺		平成29	平成30	令和元
1801	市民ぐるみの教育の推進	Α	Α	Α
1802	子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進	Α	Α	Α
1803	教職員の資質・指導力の向上	В	Α	Α
1804	新しい学習環境づくり	Α	Α	Α

く今後の方向性>

①市民ぐるみの教育の推進

・学校運営協議会については、地域ぐるみの教育、開かれた学校づくりの核として、全幼稚園、小学校、小中学校、総合支援学校への設置など市町村別で全国最多の学校・園に設置しているところであり、今後も中学校及び小中合同による設置を拡大し、学校・家庭・地域の協働体制のもとで、学校運営の充実・改善を推進していく。・また、総合支援学校については、引き続き高等部での職場実習の受入先企業・団体の一層の開拓に取り組む。

②子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進

・子どもたちに「生きる力」を育むため、創造的で個性豊かな子どもとその「確かな学力」を育成する取組、豊かな人間性を育む取組、心身ともに健全でたくましい子どもを育成する取組を推進するとともに、教職員の資質・指導力向上や教育環境の整備にも取り組む。

・就学支援シートの活用や, LD等通級指導教室の設置拡大等により, より多くの支援を必要とする子が通級による専門的な指導を受けることができるよう,体制の充実を図る。

③教職員の資質・指導力の向上

- ・「京都市教員等の資質の向上に関する指標」に基づき、総合教育センターにおいて、キャリアステージに応じた研修や喫緊の教育課題に関する研修を実施する。また、受講者アンケート等を活用しながら研修ニーズの把握に努めるとともに、教職員の働き方改革も踏まえ、教材や研修動画をイントラネット上で配信する「総合教材ポータルサイト」を運用するなど、教職員の研修機会の充実・改善に努める。さらに、同サイトを活用し優れた授業映像の配信など、研修の手法も工夫していく。
- ・「京都市OJT実践ガイドライン」を活用し、各校園におけるOJTのさらなる推進を図る。
- ・育児休業中の教職員が円滑に職場復帰できるよう,復帰を予定している教職員を対象に,育児休業復帰時の不安軽減につながる研修を実施するとともに,育児休業中の教職員にも受講可能な研修の情報を周知するなど,復帰に向けた研修機会の充実を図る。

④新しい学習環境づくり

- ・環境やバリアフリーの観点,更には施設の長寿命化の視点を踏まえながら,子どもたちが安心して快適に過ごせる学習環境の整備を進める。
- ・地域の防災拠点として機能できるよう,防災機能や耐震性能の向上の観点から学校施設の整備を行う。

政策	名	1	18	学校教	育					
指標	 名	学校教	育に参	画する	ボランティア数	(人)				
担当	i部室	新室 総務部 連絡先 222-3768								
1 指	標の説	明								
学校支援	ボランティ	ィア,学生			ィ・ファイナンスパーク学 ンティアの人数	習ボラン				
2 指	標の意	味				3 算出方法	と・出典等	<u> </u>		
			画の推進を	を示す指	標	出典:事業担当				
4 数	值									
10年後((令和2年	度)の			令和2年度目標値	用识体 (亚代01年	- 	根拠		
目標値			24,	699	29,000	現況値(平成21年	-度24,000人)の約20%増しを目指す		
		数値 !9年度	最新 平成3		推移	数値	単:	年度目標値 根拠	達成度	
数值	24,	889	25,0	064	175人増	28,500	いくために	目標値を段階的に達成して こ,当年度に達成すべき数値 標値の500人増)		
	全国順位				中長期目標					
	工曲順印	数值	目標年次	達成度	根	拠		備考		
数值	F= ++ **				O # 2# 54 5F			_ = == A.L ==		
	価基準	(古)ァサイ	トる達成原	在より	6 基準説明 100%以上を a と	1 17 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	加力で甘	7 評価結果		
a:100%		他に刈り	の達成は	支 // 3	準を設定した。	こし、以下20703	刻みて基	平成29 平成3	0 令和元	
	以上~10									
, ,	以上~80 以上~60							b b	b	
e: 40%		70不何							~	
1 1 1 1 1 1 1	1-11-3									
指標	名	小中合	同の学校	運営協調	養会を設置するロ	中学校ブロック	の割合(9	%)		
担当	i部室	<u>/-</u>	上涯学習:	部		連絡先	2 5 1	1-0456		
1 指	標の説						•			
	一貫教育		地域とと	もにある	学校づくり」の	観点から小中合	・同の学校選	軍営協議会を設置する「	中学校ブ	
	標の意		A = - '	11. 	246.115.20		と・出典等	¥		
校種間でを示すれ		に地域く	ぐるみの	双育の推	進状況	出典:事業担当	白課調べ			
A NEE	. Arts									
10年後(. iii (令和2年	度)の	平成26年	度評価値	令和2年度目標値			根拠		
目標値			10	6	50	中学校ブロックの	の半数が設置	置している状況(%)		
		数値	最新		推移	米小さ	単	年度目標値		
	平成29年度 平成30年度		数恒			根拠 令和2年度目標値を段階的に達成していく				
米小古	9	19	1	q	10ポインル増	27			達成度	
数值	3	39	4	9	10ポイント増	37		目標値を段階的に達成してい 年度に達成すべき数値 		
数値	全国順位				中長期目標			年度に達成すべき数値	2	
数値			目標年次		中長期目標	- 37			2	
数值					中長期目標			年度に達成すべき数値	2	
数值 5 評 達成度7	全国順位 価基準				中長期目標 根 6 基準説明 100%以上を a と	. w	ために、当4	年度に達成すべき数値 備考	132.4%	
数値 5 評 達成度 2 a:100% b:80%	全国順位 価基準 が が が が が が が が が が が が が	数值			中長期目標 根	. w	ために、当4	年度に達成すべき数値 備考 7 評価結果	132.4%	
数値 5 評 達成度7 a:100% b:80% c:60%	全国順位	数值 0%未満 %未満			中長期目標 根 6 基準説明 100%以上を a と	. w	ために、当4	年度に達成すべき数値 備考 7 評価結果	132.4%	

政策	名	1	8	学校教	育						
指標:	名	総合支	援学校高	高等部本	工業生の企業等	就職者数(人)					
担当	部室		指導部			連絡先	352-22	285			
	標の説明 爰学校高		*生の企	業等就職	找者数						
0 #5	場の主 の	<u>.</u>					i i i eth Adr				
総合支担	標の意味 爰学校高 犬況を示	等部卒第	美生の自.	立的な社	上会参加	3 算出方法・ 出典:事業担当認	□典寺 県調べ				
4 数	値 令和2年	産)の	平成23年	度評価値	令和2年度目標値		根拠			1	
目標値	T) THZ ++ .	又/ 07	4	.5	600	今後10年間(H23~R2年度)の総合支援学校高等部卒業生の企業等就職者数を、過去10年間(H13~ 22年度:365人)の50%増を上回る600人とする。					
	前回 平成2		最新 平成3		推移 単年度目標値 根拠					達成度	
数值	50		, ,,,	78	77人増	480	令和2年度目標値を	2年度目標値を段階的に達成していめに,当年度に達成すべき数値			
	A = 10= 11				中長期目標						
	全国順位	数値	目標年次	達成度	ħ.	艮拠	備考				
数值	_	600	令和2年度	96.3%	過去10年間(H13~22	年度:365人)の50%増					
5 評				. 1	6 基準説明	a facility as feet as	- (7 評価	結果		
a: 100%	最新数値の目標値に対する達成度が a:100%以上 b:95%以上~100%未満					の達成を鑑みて, 以下5%刻みで基		平成29	平成30	令和元	
c: 90%	以上~95 以上~90	%未満			INE UICO			а	а	а	